

下北森林管理署の採材現地検討会に参加

令和7年10月21日(火)、青森県むつ市大畑町の朝比奈岳国有林内において下北森林管理署主催の採材現地検討会が開催され、青森事務所から職員2名が参加しました。

当日は、朝方まで雨模様でしたが開会時には曇り空となり、県・市担当者、林業関係団体や林業事業体など40名の参加者を得て開催されました。

下北森林管理署長の挨拶後に、青森事務所から東北森林管理局管内の木材需要動向について、一般材・合板材の4m採材比率向上、ヒバ・広葉樹の採材について、請負事業実行時の留意事項等について説明しました。次に署担当者から事業地の概要等について説明が行われ、実際の採材検討に移りました。



開会式の様子



参加者全員で採材検討

今回は、ヒバ2本とブナ・ホオノキが供試木として準備され、参加者全員で採材検討を行いました。30cm前後のヒバ中目材の採材寸法や、広葉樹の採材等について参加者から活発な意見が出され、青森県森林組合連合会からは広葉樹の採材寸法等についてアドバイスをいただき採材箇所を決定。実際に造材していただき検討結果を確認することができたため、有利採材・販売に向けての理解を深めることができました。

最後に、青森事務所から講評と労働安全等についてお話させていただき、検討会は無事終了となりました。

青森事務所では、今後も各署等で開催される採材検討会等に積極的に参加し、国有林材の有効利用や労働災害の未然防止に貢献したいと考えています。



ヒバ・広葉樹を造材し検討結果を確認



青森事務所から講評と安全指導